

小笠原村の医療

〔平成25年度版〕

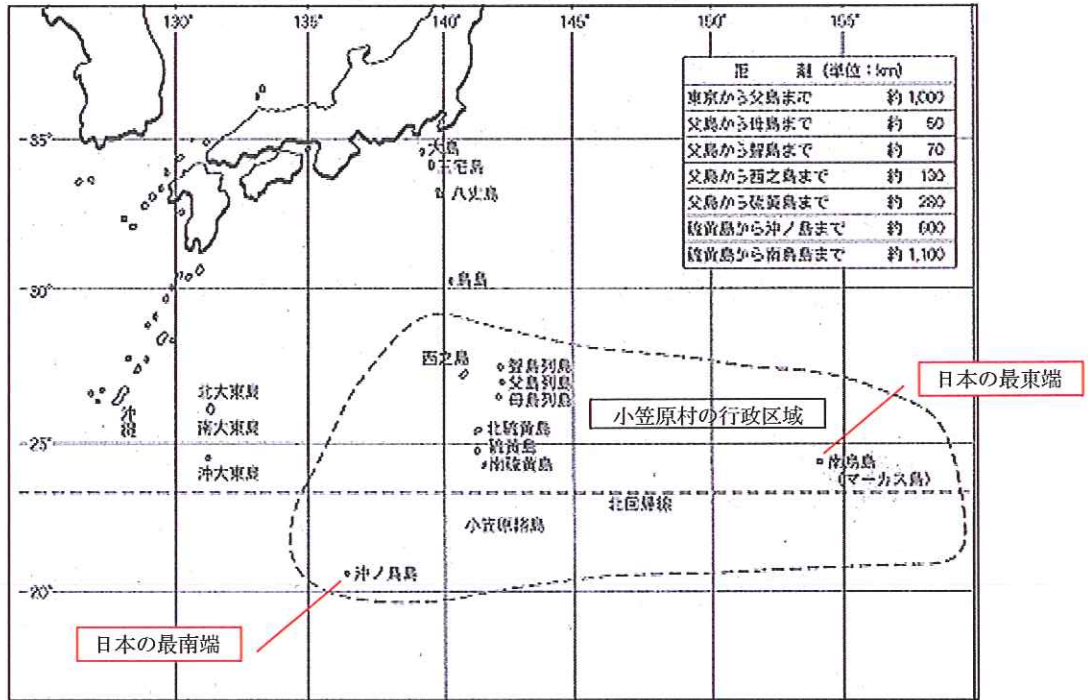


(海上自衛隊 救難飛行艇 US-2)

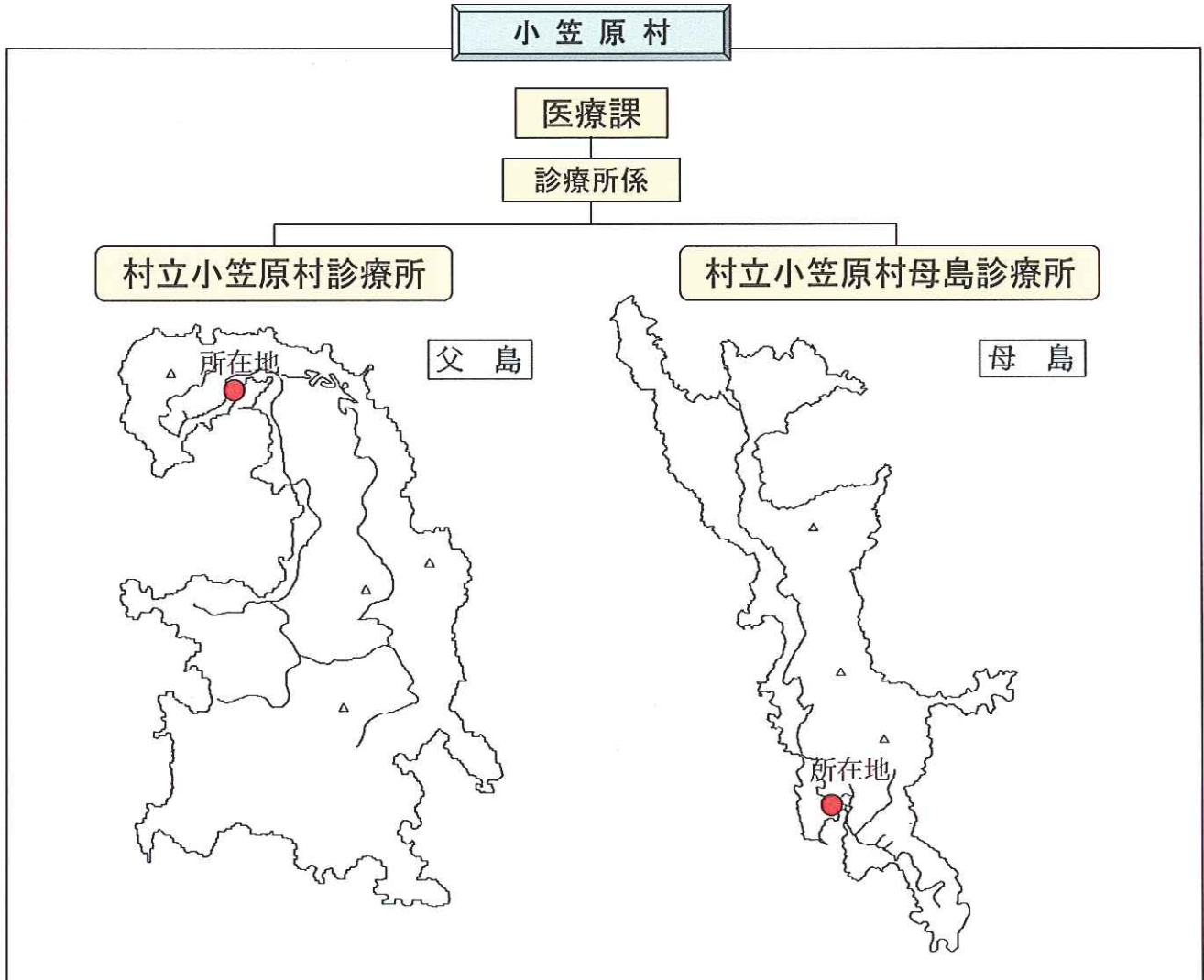
平成25年4月
小笠原村医療課

はじめに

〔小笠原諸島の位置〕



〔小笠原村の医療の組織図〕



1. 診療所の概要

	父 島	母 島
名 称	小笠原村診療所	小笠原村母島診療所
診療所沿革	昭和43年6月 小笠原諸島が米国から日本に返還されたことに伴い、米軍の診療所を引き継いで開設 昭和53年5月 施設の老朽化に伴い、診療所を整備、開設 平成22年5月 施設の老朽化に伴い、介護施設と一体となった現診療所を整備、開設。	昭和47年10月 小笠原諸島が米国から日本に返還されたことに伴い、鉄骨プレハブ造の診療所を開設 平成6年4月 施設の老朽化に伴い、現診療所を整備、開設
開設年月日	平成22年5月1日開設 (開設者 小笠原村長)	平成6年4月18日開設 (開設者 小笠原村長)
施設の概要	鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 2,268.96㎡(他施設含む) 診察室 3室(医科2室、歯科1室) 病床数 9室9床	鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 743㎡ 診察室 2室(医科、歯科各1室) 病床数 2室4床
スタッフ (予定含む)	〔医科〕 医師 3名(内、都派遣医師2名) 看護師10名、助産師 2名 薬剤師 1名、X線技師1名 理学療法士 1名 栄養士1名、調理師3名 〔歯科〕 医師、技工士、衛生士 各1名 〔事務〕 課長以下4名 〔その他〕 併任職員(都保健所) ⇒医師、X線技師、検査技師	〔医科〕 医師 1名(都派遣医師) 看護師 2名 〔歯科〕 医師、衛生士 各1名 〔事務〕 常駐職員なし(非常勤職員で対応) ⇒役場母島支所職員が応援
診療科目	内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、精神科、歯科	内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、精神科、歯科
診療日等	〔診療日〕 平日午前(水曜日は午後もあり) 〔診療時間〕 9:00~12:00(水曜 14:00~17:00) 〔受付時間〕 8:30~11:00(水曜 13:30~15:30) 〔歯科〕 上記診療時間と同じ(予約制)	〔診療日〕 平日午前(水曜日は午後もあり) 〔診療時間〕 9:00~12:00(水曜 14:00~17:00) 〔受付時間〕 8:30~11:00(水曜 13:30~15:30) 〔歯科〕 上記診療時間と同じ(予約制)
休 診 日	土・日曜日、祝日、年末年始 ただし、急患は随時対応(119番体制)	土・日曜日、祝日、年末年始 ただし、急患は随時対応(119番体制)
診療実績 (平成23年度)	〔医科〕 年間外来患者数 9,575人 1日平均患者数 39.2人(外来244日) 年間入院患者数 74人 年間入院実日数 227日 〔歯科〕 年間外来患者数 1,148人 1日平均患者数 4.7人(外来244日)	〔医科〕 年間外来患者数 2,897人 1日平均患者数 11.8人(外来244日) 年間入院患者数 14人 年間入院実日数 14日 〔歯科〕 年間外来患者数 1,836人 1日平均患者数 7.5人(外来244日)
参 考 (各診療所の 外観)		

2. 専門診療

専門医による診療提供の機会として、平成14年度から専門診療を実施している。科目及び実績は次のとおり。

〔診療科目〕	(1)眼科	… 年2回	北里大学病院から招聘
	(2)耳鼻咽喉科	… 年2回	昭和大学病院から招聘
	(3)皮膚科	… 年1回	東京医科大学病院から招聘
	(4)整形外科	… 年1回	武蔵野赤十字病院から招聘
	(5)産婦人科	… 年6回	個人医師を招聘（H20以前は年4回）
	(6)小児科	… 年2回	昭和大学病院から招聘
	(7)精神科	… 年2回	個人医師を招聘（H25より開始）

【平成24年度診療実績（受診者数）】

科目	父島	母島	合計	備考
眼科（5月）	189	61	250	
眼科（11月）	150	50	200	手術3眼
耳鼻咽喉科（5月）	156	52	208	
耳鼻咽喉科（10月）	150	43	193	
皮膚科（11月）	105	27	132	
整形外科（1月）	50	26	76	
産婦人科（年6回）	266	60	326	
小児科（6月, 12月）	14	8	22	

3. 島内出産

産科医師の確保、分娩体制の問題等により島内での出産はできない状況となっている。また、内地出産のため上京する際は、妊婦に係る定期船乗船の制限があるため、妊娠8カ月の時点で上京せざるを得ず、内地での長期滞在が余儀なくされ、精神的・経済的に負担が大きい。そのため、村では内地での出産に対し財政的支援を行っている。

因みに、妊婦数は、例年約20人前後である。

〔内地出産への支援〕

- ①出産支援金の支給（40万円）
- ②出産費用一時貸付の実施（国民健康保険加入者に限る）
- ③分娩及び長期宿泊滞在が可能な病院の確保、紹介

〔妊婦・産婦への支援〕

- ④産婦人科専門診療の年6回の実施
- ⑤小児科専門診療の年2回の実施
- ⑥母子保健事業の充実
- ⑦助産師・保健師による相談、指導の充実

4. 急患搬送

小笠原村～東京間の交通手段は、約6日に1便、片道約25時間の定期船「おがさわら丸」しかなく、当村診療所で対応できない救急患者が発生した場合は、東京都を通じ、海上自衛隊の救難飛行艇（水陸両用）を要請し、都内病院へ搬送していただいている。

急患搬送は、村民のほか、観光客、仕事での来島者、近海で操業中の他県の漁業従事者、遠洋航海の船員の患者も少なくなく、外国船籍の乗組員を搬送することもある。

日中における急患搬送は海上自衛隊の救難飛行艇（US-1, US-2）により搬送されるが、救難飛行艇は有視界飛行であり、照明のない海上に着水できず、日没後の搬送はできな

いため、夜間における急患搬送は、硫黄島の海上自衛隊のヘリにより患者を硫黄島に搬送し、滑走路を有する硫黄島の基地から救難飛行艇等で内地に搬送される。

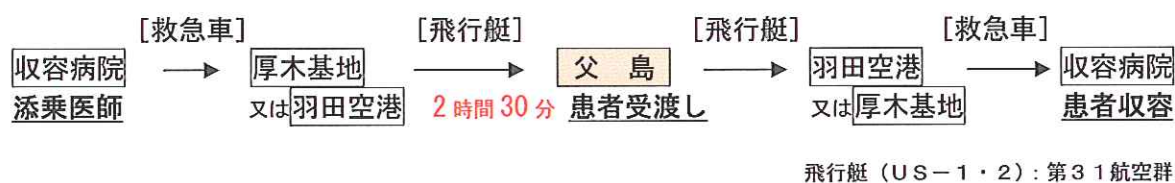
このヘリによる夜間搬送は、父島では平成13年度から、母島では平成14年度より実施されており、これにより日没後の搬送が可能になったばかりでなく、要請から病院に収容されるまでの平均所要時間が短縮された。

【過去10年間の救急患者搬送実績】

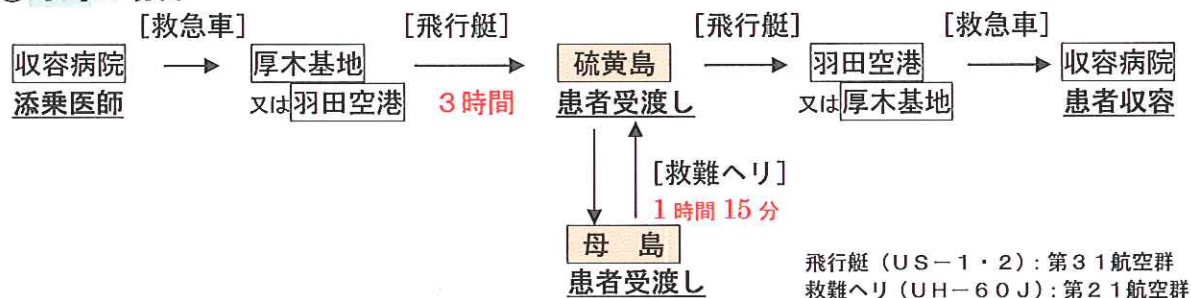
年度	年間搬送実績				島別内訳				
	件数	人数	病院収容までの平均所要時間	(内) 夜間件数	父島		母島		硫黄島他
					件数	(夜間)	件数	(夜間)	件数(夜間)
H15	39	44	9時間27分	(14)	34	(12)	4	(2)	1
H16	28	29	9時間06分	(6)	23	(5)	4	(1)	1
H17	24	27	10時間13分	(11)	21	(11)	2	(0)	1
H18	20	21	9時間32分	(12)	15	(8)	5	(4)	0
H19	32	34	9時間58分	(16)	29	(15)	3	(1)	0
H20	36	39	11時間02分	(8)	24	(6)	5	(2)	7
H21	22	23	9時間40分	(12)	15	(10)	7	(2)	0
H22	21	23	9時間16分	(5)	15	(3)	4	(1)	2(1)
H23	34	39	9時間19分	(16)	26	(12)	6	(3)	2(1)
H24	30	33	9時間36分	(16)	24	(13)	5	(3)	1

〔搬送経路〕

①父島の場合



②母島の場合



③夜間の場合 (父島、母島とも)

搬送経路 ⇒ ②と同じ

〔夜間搬送運用開始〕 父島 平成13年5月 9日
母島 平成14年5月15日

5. 外国船・他県船の救急受診状況

当村は、日本国の南方海域に位置していることから、当村診療所には、南方域において操業する他県船籍の漁船、作業船、調査船、実習船などのほか、外国船籍（多くは台湾）の漁船等の患者が、救急で受診するケースもある。

【過去10年間の救急受診実績】

年度	年間受診実績			船籍別内訳					
				外国船	日本船				
	件数	人数	内地搬送	漁船	漁船	作業船	調査船	実習船	その他
H15	7	7	0	0	5 (5)	0	0	2 (2)	0
H16	16	30	2件2名 (日本船籍)	3 (3)	10 (21)	2 (2)	0	1 (4)	0
H17	6	8	1件1名 (日本船籍)	0	5 (7)	0	0	1 (1)	0
H18	14	14	0	2 (2)	7 (7)	3 (3)	1 (1)	0	1 (1)
H19	9	10	1件1名 (日本船籍)	3 (4)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0
H20	8	8	2件2名 (台湾船籍) 1件1名 (日本船籍)	4 (4) 1件1名は 貨物船	2 (2)	1 (1)	1 (1)	0	0
H21	5	5	1件1名 (パナマ船籍)	1 (1)	4 (4)	0	0	0	0
H22	5	6	1件1名 (日本船籍)	1 (2)	3 (3)	0	1 (1)	0	0
H23	2	2	1件1名 (日本船籍)	0	2 (2)	0	0	0	0
H24	14	14	0	0	9 (9)	0	1 (1)	3 (3)	1 (1)

()内は人数

6. 医療機器 (主なもの)

＜医科＞

CT・X線装置、ポータブルレントゲン、超音波診断装置、人口呼吸器、除細動装置、心電計、血算・生化学検査器、吸引装置、電子内視鏡、患者監視装置、間歇牽引装置、眼底カメラ、オージオメーター、喉頭鏡、血液ガス分析装置(小型)ほか

＜歯科＞

診療ユニット、歯科X線装置、パノラマX線装置、歯科技工器材ほか

以上

【問合せ先】小笠原村医療課（小笠原村診療所内）

<http://www.ogasawaraclinic.jp>

小笠原村診療所

TEL 04998(2)3800 FAX 04998(2)2768
E-mail hospi@vill.ogasawara.tokyo.jp
〒100-2101 東京都小笠原村父島字清瀬

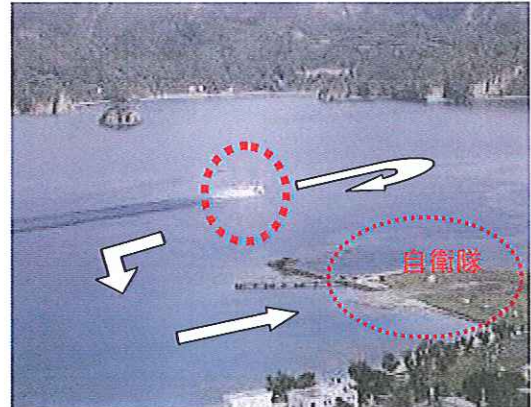
小笠原村母島診療所

TEL 04998(3)2115 FAX 04998(3)2107
〒100-2211 東京都小笠原村母島字元地

参考：急患搬送の様子（父島）



US-1が集落上空を通過、二見湾へ



二見湾に着水、自衛隊へ



到着後、US-1入口に救急車を横付け



患者はフォークリフトで機内へ



救急車から患者をUS-1へ



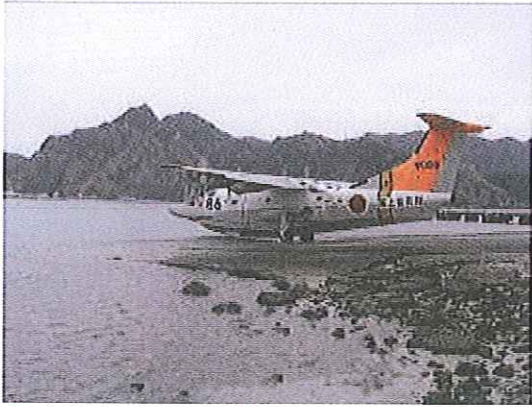
ストレッチャーごと機内へ運ぶ



フォークリフトでUS-1入口へ



ストレッチャー撤収、患者收容完了



収容後、直ちに出発



再び二見湾へ



海上から離水するため移動中



二見湾から離水、東京へ

参考：新しい救難飛行艇 US-2



参考：救難ヘリ UH-60J



以上